

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和3年度)

2. 分野別状況(2)地域活性化総合特区 ④観光等分野

| | 総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算) | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | 総合評価に係る専門家所見(主なもの) |
|--|-----------------------------|---|---|-----------------------|--|
| | | 目標に向けた取組の進捗 | 支援措置の活用と地域独自の取組の状況 | 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決 | |
| 国際医療交流の拠点づくり「りんくうタウン・泉佐野市域」地域活性化総合特区(大阪府、泉佐野市) | 3.8 | 4.5 進捗度 ・国際医療交流の推進 40% ・訪日外国人へのホスピタリティや地域魅力の向上による訪日促進 -% | 3.5 規制の特例等 ・地域限定特例 通訳案内士育成等 事業等 地域独自の取組 ・国際医療交流の拠点づくり 促進補助金 ・宿泊施設設置 奨励金 等 | 3.5 | <p>・医療と観光の連携については、ヘルス(ウェルネス)をテーマとするツアーの造成が開始されたとは言え、依然として必然性が弱い。当地の観光ポテンシャルを活かした段階的な取り組みを進める中で、ますます医療と連携することの優位性がぼやけてきているようである。国際的な医療の交流や遠方から来訪する患者の受け入れにあたっては、MICE同様観光的なインフラが重要である。またコロナ禍で際立ったように、観光面からも訪問先で医療の環境が整っていることは訪問地選定の材料となり得る。こうした2分野の相互補完性を明確に位置づけ、実施体制の構築に取り組む方が良いのではないか。</p> <p>・前年度の評価結果を踏まえて積極的に取り組む姿勢が評価できる。医療と観光の連携については、ヘルス(ウェルネス)をテーマとした周遊ルートを確立すべく、ツアーの造成に取り組んでおり、また、地域DMOを核とした域内連携を推進するなど、具体的な取り組みに期待したい。また、ターゲットの明確化という課題においては、コロナ禍でインバウンド客の誘致が当面望めないことから、国内宿泊客向けのキャンペーンを実施するなどの取り組みも評価できる。</p> <p>・関空ゲートシティ、国際医療拠点としての泉佐野の知名度も不足していると思われ、2025大阪関西万博開催、アフターコロナを見据えてその地位を確立するには、なぜ泉佐野に来訪したのか、泉佐野を知った動機など、マーケティングを改めて行い、ターゲット国を明確にした戦略的なプロモーションが必要。</p> <p>・民間施設との相乗効果が拡大しており、戦略や対応策のバリエーションが増えたと思われます。りんくうならではのカラーを打ち出した取り組みを期待。</p> |